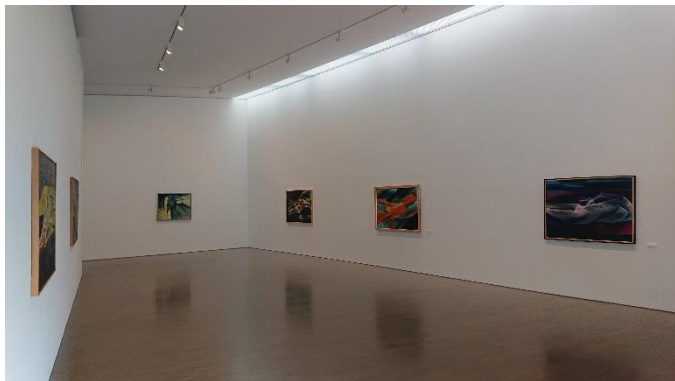


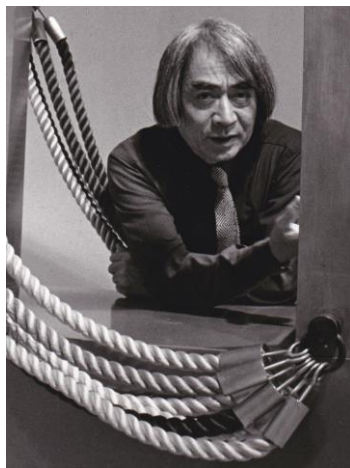
開館 20 周年記念特別展 『飯田善國 ウィーンの裸婦シリーズ』

2022 年 11 月～2023 年 10 月予定 (会期中 一部作品入れ替え予定)



『無題 (宇宙的裸婦)』 1959 年

飯田 善國 (いいた よしくに)



1923 (大正 12) 年、栃木県足利市生まれ。慶應義塾大学高等部から学徒出陣し中国大陸へ。戦後は同大学に復学し西脇順三郎(詩人・英文学者)に師事。卒業後の 1948 (昭和 23) 年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。大学卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。1956 (昭和 31) 年、小説家 野上彌生子との縁で

ローマに留学し ファッツィーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。その後ウィーンに移り 1959 (昭和 34) 年に抽象裸婦連作を描くと、本格的に彫刻に転じ、ウィーンや東ベルリンを拠点に活躍。1967 (昭和 42) 年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属とロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で国内外に広く知られる他、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。1997 (平成 9) 年 7 月、日本経済新聞「私の履歴書」連載。『ピカソ』(岩波書店 2000 年[1983 年の再刊]) 等、著作も多い。

2006 (平成 18) 年逝去。[享年 82 歳]

TRIAD IIDA-KAN

2002 (平成 14) 年、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの敷地内に飯田作品を集めた IIDA-KAN をオープン。

2018 (平成 30) 年より運営組織を公益財団法人ハーモニック伊藤財団に変更。同年、同敷地内にある槇文彦氏設計の 3 棟の建築群「TRIAD」とあわせ長野県から博物館法の登録を受ける。

ウィーンの裸婦シリーズ

絵画を学ぶため 1956 年ローマに渡った飯田は、彫刻を見てそして触って、触覚で作品を感じるという発見をしました。さらに、ウィーンに移った後の 1958 年、ヴェネチア・ビエンナーレでヴォルスの作品を見て、絵画は断念せざるを得ないと感じました。

この年と翌年、飯田は油彩画の集大成となる裸婦シリーズを一気に描きます。これらの作品には、裸婦・宇宙をテーマに平面から立体への意識の変わり方が表現され、その後の彫刻作品へつなげる過程を見ることができます。

飯田は日本へ帰国する際、作品を持ち帰りませんでした。のちに少しずつ集められ、この度 開館 20 周年を記念いたしまして、一堂に会することとなりました。 2022 年 11 月



- 開館時間：午前 10 時～午後 4 時・無休(臨時休館有)
- 交通：[電車]JR 大糸線穂高駅から「株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ穂高工場」を目的地に タクシーで 15 分 [車]長野自動車道安曇野インターより 20 分
- お問い合わせ：〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧 1856-1
公益財団法人ハーモニック伊藤財団 TRIAD IIDA-KAN
TEL 0263-83-6800(代)
[https:// www.harmonicito-f.or.jp/](https://www.harmonicito-f.or.jp/)



公益財団法人 ハーモニック伊藤財団

TRIAD IIDA-KAN

AZUMINO ART LINE
安曇野アートライン
当美術館は安曇野アートラインに参加しています